

国民年金第3号被保険者該当申立書

① 申立人 (扶養されている方)	氏名			
	住所			
	職業		収入 (年間)	万円
② 配偶者 (厚生年金保険、 共済組合等加入者)	氏名			
	住所			
			収入 (年間)	万円
③ 申立理由 配偶者の健康保険被 扶養者となっていな い場合等、該当する 箇所を○で囲んでく ださい。	厚生年金保険	ア 国民健康保険組合の組合員 イ 健康保険組合への扶養申立遅延 ウ 申立人が健康保険の任意継続被保険者 エ 第4種被保険者又は船員任意継続被保険者 オ 任意単独被保険者		
	共済組合等	カ 共済組合への扶養申立遅延 キ 特例継続組合員		
	(旧)農林漁業団 体職員共済組合	ク 任意継続組合員 ケ 国民健康保険の被保険者		
	その他	コ 医療保険者からの扶養認定は外れたが、配偶者 により継続して扶養されているため サ ()		

④ 婚姻日	(年 月 日)
⑤ 退職日及び 雇用保険について	退職日 (年 月 日)
	雇用保険に (加入していた ・ 加入していなかった)
	雇用保険を (受給中 ・ 申請中 ・ 申請しない ・ 延長申請中)
	受給期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)
⑥ 該当日からの扶養 の事実を記入して ください。	

上記のとおり相違ないことを申し立てます。

令和 年 月 日

年金事務所長 殿

氏名 _____

国民年金第3号被保険者該当申立書記入要領

この申立書は第3号被保険者となる人が配偶者の健康保険の被扶養者として認定を受けていない場合や、3号該当日が届出年月日より30日以上遡っている場合等に必要です。

1. ①の職業欄は、主婦・学生・農業従事者等、具体的に記入してください。
2. ①②の収入欄は、恒常的な収入として見込まれる勤労所得・資産所得・事業所得・その他の収入（例えば年金・失業給付等）の年間推計額を記入してください。
3. この申立書には、該当日において生計維持が確認できる次の書類を添付してください。
※ 該当する期間について、配偶者が加入する医療保険に扶養認定されている場合は不要です。
 - (1) 申立人の収入が明らかとなる書類
＜例えば非課税証明書・課税証明書・給与明細票・年金証書等＞
 - (2) 申立人と配偶者の身分関係が明らかとなる書類
＜例えば戸籍抄本・婚姻届受理証明書等＞
4. ③欄は、次の場合等に該当の符号を○で囲んでください。
 - (1) 申立人が配偶者の健康保険被扶養者となっていない場合
 - (2) 配偶者が国民健康保険に加入している場合
 - (3) 配偶者が事業所に勤務していない場合
5. ④欄は、婚姻日を記入してください。
6. ⑤欄は、退職したことにより第3号被保険者に該当する場合に退職日を記入してください。また雇用保険の加入の有無と受給状況を記入してください。
7. ⑥欄は、該当日からの扶養の事実を具体的に記入してください。